

頑張れ！ ★存亡の危機に直面★ ニューフィル千葉



写真は、日本音楽家ユニオン関東地方本部ニューフィル千葉発行のパンフレット「県民だれもが心の豊かさを」からお借りました。

●楽団員の給与を35%カット 請負契約で「月5万円」の出来高払い

さらに県は、経営難を口実に35%もの賃金カットを実施。医療・福祉や教育だけでなく、県民の心に豊かさをもたないと、雇用関係も破棄し、請負契約で「月5万円」の出来高払いを要求してきたのです。

●「《不安だと、いい音が出ないんです》との楽団員の声に胸が痛みます」とみわ県議

みわ県議は、「ニューフィル千葉の楽団員の代表らと先日懇談しました。『月5万円の出来高払いで、生活が不安だと、いい音が出ないんです』とおっしゃったことが、心に突き刺さりました。

文化や音楽とは何なのか

…を理解できない行政は、変えましょう。
ニューフィル千葉は子どもたちや県民の宝です」と語っています。

千葉の

日本音楽家ユニオン千葉ニューフィル発行のパンフレット「県民だれもが心の豊かさを」から一部を紹介させていただきます。

生の演奏に——少年少女の輝く瞳

- こんなに身近にオーケストラが聴けるのは素晴らしい体験。できることなら毎年やってほしい。
(袖ヶ浦市、中学校教諭)
- 鑑賞教室を生徒一同楽しみにしていた。その結果であろう、今年度初めて欠席者ゼロの日となった。心の病を抱えている生徒が食い入るように聴いていた。
(八千代市、小学校教諭)
- 生徒たちにさらなる感動を与えるために、もっと大きな

- 編成でやってほしい。補助金ももっとあればできるのだが…。
(千葉市、中学校教諭)
- 音楽の授業数が少ない今、鑑賞教室は非常に効果的。絶対になくさないでほしい。
(市原市、中学校教諭)
- こんなに素晴らしい機会が無くなってしまふなんてとんでもない！ 芸術文化は子供たちの成長に欠かせないもの。今後も続けてほしい。
(館山市、養護学校教諭)



音楽の灯を消さないで！文化を守ろう

知事の補助金カットは許しません

